



福生二中だより

No.11

令和8年3月2日発行

福生市立福生第二中学校

TEL 042(551)1970

校長 平井 貞昭

「有り難う(ありがとう)」

3月といえば、別れの月、新たな旅立ちの月…、人それぞれの思いのある月ではないでしょうか。私は、この3月を「感謝の月」と思っています。3年生にとっては、義務教育の最後の月です。ですから、義務教育9年間の最後の月と考え、まとめとなりますが、それより、私は、「感謝」が思い浮かびます。

「有り難う(ありがとう)」の「難う」の「難」は、訓読みで「むずかしい」と読みます。「有り難う」は、「むずかしいことがある」ということです。つまり、めったにできないことをしてもらったこと、その行為に対して「有り難う(ありがとう)」という感謝の言葉が生まれました。

例えば、3年生は義務教育が終わり、ここまで育ててくれた親に感謝、教えてくれた先生方に感謝、相談に乗ってくれた友達に感謝、保護者からすれば、お子様に対して「喜怒哀楽あったけれど、ここまで育ててくれて、ありがとう」。教師からすれば、「生徒の皆さん、ここまで立派になってくれて、ありがとう」。「保護者の皆様、教育活動に御理解と御協力をいただき、ありがとうございます」。このように、たくさんの感謝がこの月にはあると思っています。3月は、お互いに感謝しあえる月になると素敵だと思います。



そして、毎月の学校だよりは、少しでも保護者の皆様のお役に立てればという視点で書かせていただいた月がありました。4月号では「応援されると頑張れる」、夏号では「子供の発するサイン」、9・10月号では「家庭の教育力」、11・12月号では「夢や希望をもたせるということ」、12月号では「言葉の大切さ」です。毎月の学校だよりをお読みいただきまして誠にありがとうございました。これまでの学校だよりは、HPにもアップしておりますので、いつでも御覧いただけます。

最後になりますが、保護者の皆様及び地域の皆様におかれましては、今年度の本校の教育活動に御理解、御支援を賜りましたこと、厚く御礼を申し上げます。来年度も本校職員が一丸となり、よりよい学校を目指して改善・充実を図って参ります。今後とも御支援の程、よろしく願いいたします。

保護者の皆様と本校生徒に御協力いただきました「学校評価アンケート」の結果がまとまりました。御協力ありがとうございました。本アンケートの結果を踏まえ、来年度の教育活動の改善・充実を図ってまいります。下記 URL 又は右の二次元コードより御覧いただけますようよろしくお願いいたします。

<https://fussa-2j.hs.fussa.school/wysiwyq/file/download/1/398>



各学年の取組 ～魅力ある学校づくりに向けて～

第1学年

1月22日に防災講習会、2月5日にゴールボールが行われ、講師の方をお招きした授業を行いました。どちらの講習会でも積極的に参加する生徒の姿があり、講師の方も「素晴らしい生徒さんですね」と絶賛されるほどでした。特にゴールボールはボールの中の鈴の音に耳を傾けながら、懸命にゴールを守る姿がありました。



これらの講習会が終わり、2月中旬からは定期考査に向けて雰囲気を作り始めました。学年委員や生活委員の協力で予想問題を作成したり、昼休みもワークなどに取り組んだり、今までの一年生にはない姿を見ることができています。

第2学年

2年生は2月6日に Tokyo Global Gateway (TGG) での体験学習に参加しました。英語系中心に事前に確認した予定や活動のきまりを守り、それぞれが目標をもって主体的に取り組むことができました。英語を「学ぶ」から「使う」を意識しながら活動できました。緊張した様子も見られましたが、外国人エージェントとのやり取りを重ねる中で、次第に笑顔が増え、自分から話しかける姿が多く見られるようになりました。異文化に触れ、生きた英語を使う経験を通して、自信や達成感を得る貴重な機会となりました。今回の学びを英語学習や ESAT-J に生かし、さらに学習することの楽しさを知って成長してくれることを期待しています。



第3学年

2月21日に行われた都立一次募集入試が終了し、本日、その合格発表を迎えました。3年生はこれまで積み重ねてきた学習の成果を発揮しようと、入試当日まで真剣に努力を重ねてきました。また、一次募集入試の後には学年末考査も行われ、こちらも無事に終えることができました。進路が決まった生徒も、これから次の試験に臨む生徒も、学年末考査の「最後の」予想問題作成や、廊下掲示の制作に協力して取り組む姿が見られ、互いに支え合いながら成長してきた様子が感じられます。仲間とともに努力を重ねてきた経験は、それぞれの確かな自信と力になっていることでしょう。卒業式まで残り数週間となりました。最後まで実りある学校生活となるよう、引き続き温かい御支援をよろしくお願いいたします。



人権課題講演会

2月7日(土)、福生市人権擁護委員の島田 しのぶ様をお迎えして、「多様性社会～すべての人々の幸せを願って～」と題して人権課題講演会を実施いたしました。島田さんは、福生市茶道連盟会長としても茶道体験として本校の生徒に指導していただいております。



お礼の言葉を述べている三ツ矢さん

島田さんは、地域の皆さんに人権について関心をもってもらえるような啓発活動をされており、多くの学校で講演を行っていらっしゃいます。当日も、優しくも毅然とした語り口で、分かりやすく社会的立場の弱い方への差別について、人権尊重の観点から貴重なお話を生徒に聴かせていただきました。生徒も、メモを取りながら、真剣に島田さんの話に耳を傾けていました。

島田さんは、「多様性を認め、社会が彼らに適応するという考え方が大切であり、そのために、私たちは、何をすべきか何ができるかを考える必要がある」とおっしゃられていました。そして、「行動は思考から生まれる」と訴えていらっしゃいました。とても貴重なお話をいただきました。

今回の体験授業を通して、生徒一人一人に人権意識が醸成されることを期待しています。講演会の中で、生徒同士の話し合いで生まれた生徒の思いをいくつか紹介させていただきます。

- ・仲良くない人のことを「◎◎くんは△△とかやっついそうだよな」みたいに勝手に思い込まないようにしようと思います。
- ・相手の意見や気持ちに耳を傾けることが大切だと思いました。
- ・相手を一人の人や個性として認め、社会全体が適応していく必要があると思いました。
- ・相手の考えを聞く、受け止める。
- ・相手のことを否定しない。
- ・相手の良さや優しさに気づき、互いを理解し合うこと。

【二中学生の活躍】

【吹奏楽部】

第49回東京都アンサンブルコンテスト 銀賞

【陸上部】

第64回東京都中学校ロードレース大会 男子2・3年 2km競走

第2位 6分51秒 菊池 慶次 第6位 7分02秒 平野 楓太

第6位 7分04秒 浜田 昊磨 第8位 7分05秒 小島 煌太

【女子バレーボール部】

第8ブロック冬季研修会 第3位

【バドミントン】

冬季Eブロック大会【2部】男子シングルス 第1位 荻野 良太

